

2021年12月●日

札幌市長 秋元克広 様
札幌市教育長 ●● 様

北海道食といのちの会

貴自治体の福祉施設や教育施設において、ゲノム編集トマトの種苗を受け取らないでください

パイオニアエコサイエンス社は、ゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」の種苗を、福祉施設や教育施設へ無償配布する計画を発表しました。福祉施設への配布は2022年、教育施設は2023年に開始するとのことでした。

ゲノム編集技術は、特定の標的遺伝子を破壊して行う生命の改造です。標的以外の様々な遺伝子を破壊してしまう「オフターゲット」現象がしばしば起きます。無差別な遺伝子の破壊により、新たな毒性やアレルゲン、がん誘発物質の発生が危惧されます。遺伝子は生命活動の基本であり、全体が関連しており、壊してよい遺伝子などありません。

また、ゲノム編集が行われたことを確認するための抗生物質耐性遺伝子も含まれているため、抗生物質耐性菌が増える危険があります。遺伝子組み換え食品と同等もしくは、それ以上の危険性を指摘する研究者もいます。

ゲノム編集技術の開放系（実験室外）への放出と食品応用には本来、厳格な検査と規制が必要です。にもかかわらず日本政府は、環境影響評価や食品としての安全性審査、表示も義務づけていません。一方で、特許は認められるので、遺伝子組み換えと同様に種苗等を独占する企業に莫大な利益をもたらします。一般圃場で栽培すれば、花粉などの飛散が起こり、農家の栽培種と交雑するなど、環境への深刻な影響も心配されています。トマト農家などへの風評被害も懸念されます。

ゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」に関しても、環境への影響を評価する試験や、食品としての安全性を確認する試験が行われていません。自然や生物の健康へ影響を与えてしまうことを強く懸念する消費者団体、農民団体、食の安心安全を求めるNGOは、同トマトをはじめゲノム編集された生物放出と食品の栽培、流通に強く反対しています。

安全性が確認されていない食品を子どもたちに食べさせることは許されません。安全性に強い疑問のあるゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」の種苗を貴自治体内の福祉施設や教育施設が受け取らないことを強く要望いたします。

（要望書は以上。裏面参照）

■「北海道食といのちの会」会員団体(2021年11月29日現在30団体。五十音順)

アグリシステム株式会社、eまちづくり江別、江別学校給食を考える会、オホーツク地域自治研究所、クオンタム・ネットワーク、さっぽろ市民放射能測定所はかーる・さっぽろ、さっぽろ食まちネット、札幌農業と歩む会、市民ネットワーク北海道、循環ネットワーク北海道、食糧と農業を守る全北海道連絡会(道農民連、道母親大会連絡会、新日本婦人の会道本部、道労働組合総連合、自由法曹団道支部、道農協労連、生協労連道地方連合会、農業農協問題研究所道支部)、生活クラブ生協北海道、空知の給食を考える会、チーム「今だから」、当麻グリーンライフ、当麻町有機農業推進協議会、ナチュラルココ株式会社、(一社)NO to YES、農民運動北海道連合会、(有)FAI、(一社)北海道オーガニックヴィレッジ、北海道消費者協会、NPO法人北海道食の自給ネットワーク、北海道たねの会、北海道有機農業協同組合、北海道有機農業研究会、NPO法人北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会、余市テラス、余市のぼりんファーム、らる畑

※個人会員は2021年11月24日現在62人

■役員・監査役・相談役

役員(7人)

会長:久田徳二(北海道大学客員教授、北海道たねの会代表)／副会長:瀬川守(北海道有機農業研究会代表)／副会長:武野伸二(北海道消費者協会専務理事)／副会長:富沢修一(農民運動北海道連合会書記長)／事務局長:山崎栄子(生活クラブ生協北海道理事長、北海道たねの会副代表)／安齋由希子(一般社団法人NO to YES!代表、北海道たねの会事務局長)／富塚とも子(さっぽろ食まちネット代表、さっぽろ市民放射能測定所「はかーる・さっぽろ」代表)

監査役(2人)

三部英二(札幌農業と歩む会会長)／星野武治(循環ネットワーク北海道代表)

相談役(4人)

麻田信二(元北海道副知事)／黄倉良二(元北竜農協組合長)／坂下明彦(北海道大学名誉教授)／西尾正道(北海道がんセンター名誉院長)

事務局(4人)

事務局長:山崎栄子／事務局次長:高井瑞枝(トータルフード・コーディネーター)／事務局員:畑玄理(会計責任者)、水戸啓二

■事務局(連絡・問い合わせ先)

電話:011- - FAX:011- -

メールアドレス:

Facebook ページ:

<https://www.facebook.com/Hokkaido.Syoku.Inochi513/>

<回答書>

恐れ入りますが、貴自治体の対応をお聞かせいただければ幸いです。

私たちの要望の趣旨をご理解いただき、ゲノム編集生物の種苗等を、開発・販売企業等から受け取らないでいただけますでしょうか。

自治体名：_____

ご担当部署・ご担当者：_____

同連絡先：_____

受け取らない

受け取る

その他

(いずれの場合も、その選択の理由やコメントをお聞かせ下さいますか)

:

回答期限：2021年12月31日

回答書はファックスまたはメールで事務局までお送りくださいますか。

FAX：011- -